

まにわ ハイキング&ウォーキング

# 1. 自然の宝庫

## 蒜山三座を歩いてみよう

若林 さち代



蒜山三座

蒜山高原には上蒜山・中蒜山・下蒜山の蒜山三座が鎮座し、なだらかな山容を見せている。これらの山々を歩くコースはそれぞれの峰を往復するもの、2つの峰を周遊するもの、3つを縦走するものなどがある。下から見上げると一見ならぬかそうに見える山も登ってみるとアツプダウンがかなりあるので体力と天気に合わせてコースを選びたい。

### 犬狹峠から下蒜山へ

犬狹峠登山口から歩き始める。このあたりはかつては犬も狹まるような狭い峠道だったところからついた名前だ。今は立派な自動車道が通っている。あたりは湿原になっていて、春はヒメザゼンソウやトキノソウなど湿原植物が咲く。6月下旬に咲くハンカイソウは背丈1mにもなるキク科の花で黄色い花が咲き、蒜山を代表する花になっている。

木道を歩いて尾根に取り付く。樹林の中の急坂を登りきると、あたり一面人の胸丈ほどのネザサが繁る草原に出る。五合目、雲居平（くもいだいら）のあたりはその名のとおりまさに雲の上にいるかのようなところだ。倉吉方面や南麓の展望



下蒜山雲居平付近

伯耆大山（ほうぎだいせん）や尖った烏ヶ山（からすがせん）の峰々が見える。

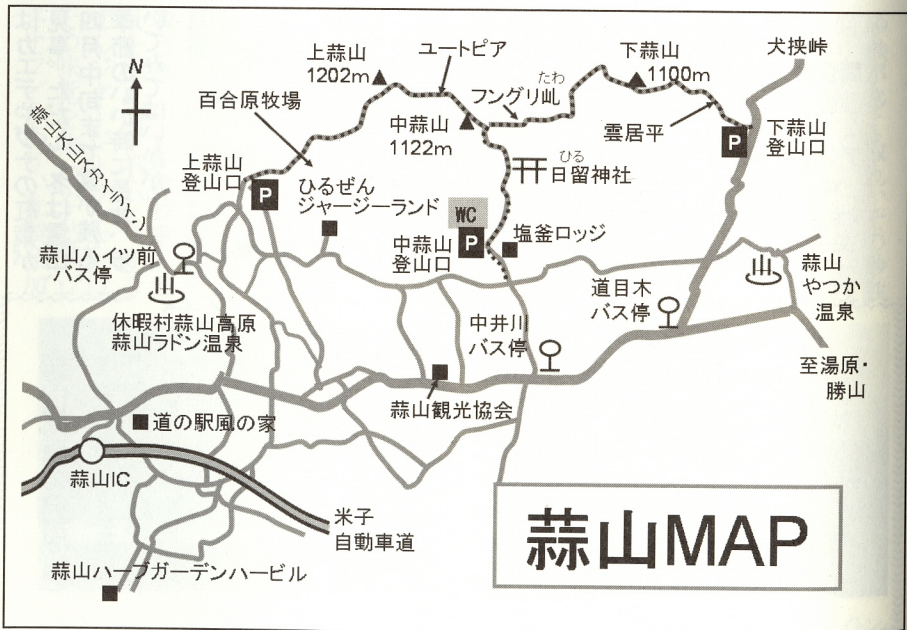
### 下蒜山から中蒜山へ

低木の樹林の混ざる道をかき下つていく。ワレモコウやヨツバヒドドリがたくさん咲いている。オミナエシやカワラナデシコもちらほらとある。小鳥のさえずる声も聞こえる。長い下りにあきてきて、いよいよ登りに差しかかるあたりをフングリ峠（たわ）という。フングリとは男の股間のものらしい。昔、八束村の男が峠（峠）を越えていく時に峠が険しくて股間をぶつけたという民話がある。このあたりから急な登り道になる。しばらく登り続けると塩釜の冷泉から登って来る道と合流する。合流して5分

ほど進むと立派なコンクリートの避難小屋がある。表にはタクシー会社の電話番号案内が張ってある。中蒜山の頂上は小屋のすぐ近くだ。下蒜山より広くベンチが置いてあり、四方の眺めがよく三座の中では一番開けている。

### 中蒜山から上蒜山へ

笹原の中を一気に下る。上蒜山への登山道がよく見える。下ったあたりはユートピアというところ。シモツケソウやイブキトラノオなどが群落をなして咲き、あたかも別天地にいるかのようだというので付いた名だ。そしてまた急な登りとなる。最期の力を振り絞って登りきると上蒜山の頂上に着くが頂上はブナの原生林に囲まれていて展望がない。





中蒜山からの蒜山高原

# グラフィティ 蒜山高原

若林 さち代

## その二 ジャージー牛のほ。

中国山地、特に鳥取・岡山県境にはセンまたはゼンと呼ぶ山が60数個ある。高い山から低い山までいろいろだ。なぜこの地方に多いのか。

ジャージー牛はイギリスのジャージー島原産の牛で、蒜山高原はその飼育頭数日本一。約2000頭が放牧され、のどかな牧歌的風景を作り出している。ひるぜんジャージーランドではその味覚を味わえる他、レストランもあり、乳製品加



ジャージー牛の子牛

山蛭が多いから、というが見たことがない、蛾(ヒビル)岡山の方言が多い、特に多くない、野蒜が多く自生している、自生しているのは山ラッキョウ、日出る方角にある、日入る方向にある、広々とした土地、常に日が当てる山だから、などといういろいろ言われるが結局語源はわからない。

## ジャージー牛

悪いことをしていると飛んできて悪人を食べてしまおうと言う怪物。そのため蒜山には昔から悪い人がいないと伝えられている。元々は妖怪。トータンポールのような形をしていて、蒜山高原のあちこちにたつて



休暇村蒜山高原の入口に立つ妖怪スイトン

## 塩釜冷泉から中蒜山へ

このコースは学校の遠足などにも利用される最もポピュラーなコース。しかし、行きはずつと急な上り坂、帰りは急勾配の下り坂である。入り口にある塩釜の冷泉は清らかな水がこんこんと沸く名泉である。

三座の縦走は健脚者向き。このコースなので二座の周遊をお勧めするが登山口にバスなどの便はないので足の確保が必要となる。5人以上のグループならばたいいていの宿で送迎してくれる。蒜山は春はカタクリやヤマツツジ、夏はカワラナデシコやマツムシソウ、ワレモコウなどと花の多い山である。展望もよく、秋

少々引き返して槍ヶ峰方面に向かう。秋にはウリハダカエデの紅葉が美しい所だ。緩い下りを槍ヶ峰まで来ると再び大山方面が見えて感激する。ネザサやカヤトの中を下ると、百合原牧場に出てジャージー牛が見られ、のどかな風景の中を上蒜山スキー場まで来ると登山口に出る。

(三座縦走約10 km 7時間)

(往復約6 km 3時間30分)

くと急な登山道となる。五合目には日留神社という1坪ぐらゐの高さの神社がある。この神社が蒜山の名の由来かと思つたらこの神社は後から置かれたものだそう。コナラなどの広葉樹の樹林帯は稜線に出るまで続き全く展望はない。が、下蒜山からの道と合流すると一気に展望がよくなり南麓には蒜山高原が一望の下に見渡せる。

## DATA

問合先 蒜山観光協会  
☎0867-66-3220

アクセス JR中国勝山駅から  
中鉄バスで約1時間20分  
・下蒜山登山口 道目木バス停  
下車徒歩30分(約2km)

・中蒜山登山口 中井川バス停  
下車徒歩30分(約2km)  
・上蒜山登山口 蒜山ハイツ前  
バス停下車徒歩20分(約1.5 km)  
<各登山口に駐車場あり>  
温泉 ・休暇村蒜山高原、  
・蒜山やつか温泉快湯館

はカエデやブナの紅葉が見事。ただし、冬は雪山、四月中旬まで雪が残る。季節のいい時には是非歩いてみてはどうか。

## コラム

### 蒜山高原の見所(夏)

○塩釜冷泉と冷泉茶屋  
中蒜山の麓に沸く名泉。茶屋では冷泉で作ったシャーベットや冷たいコーヒー、ジャージー牛のソフトクリームなどがおいしい。

### ○ひるぜん

ジャージーランド  
牛乳やヨーグルト、チーズ類などがおいしくレストランもある。併設する乳製品加工場の見学も可能。

### ○蒜山ハーブガーデン

ラベンダーは7〜8月中旬ごろが見ごろ

### ○道の駅「風の家」

蒜山ダイコンをはじめ新鮮な野菜類や乳製品、ひるぜんワインなどの特産品がいっぱい。



ひまわり館の犬猫用露天風呂

DATA

ひまわり館

真庭市湯原町下湯原 24-1

TEL 0867-62-7080

料金 1570円 定休 火曜日・年末年始

DATA

ミルトス

真庭市蒜山中福田 956-168

TEL 0867-66-3771

土・日のみ営業、要予約

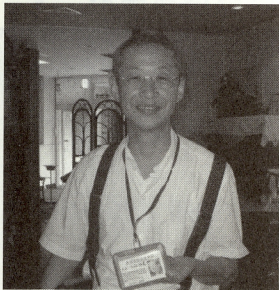
かずのこ村

真庭市蒜山下福田 471-262

TEL080-1910-1000

ペットの温泉  
一方、こちらには下湯原にあるひまわり館の犬猫専用露天風呂。一メートル四方の大きさの湯船が二つありワンちゃん猫ちゃんも温泉に浸かってストレス解消。人間様より高いけだめつたに入れないもん。たまにはね。

(若林 さち代 記)



古林伸美さん プチホテルゆげらリゾート代表取締役・温泉指南役

真庭市では岡山県デスティネーションキャンペーンに向けて、岡山駅から中国勝山駅に直通の急行列車を走らせるようJRに働きかけてきました。が、ようやく運転の運びとなりました。9時30分に岡山を出発し11時に勝山に到着します。今までは津山駅乗換えで1時間50分かかっていたところ1時間30分で行けるようになり、湯原温泉や蒜山方面へのお出かけも大変便利になり

ます。また、隣の新庄村とも協力して、期間中の土・日は観光回廊真庭周遊バスを運転致します。一日コースで各地での観光時間や食事時間も充分取っておりますので是非ご利用ください。コースは湯原温泉↓勝山町並み保存地区↓新庄村↓蒜山高原↓湯原温泉(季節により変わります。詳細は要問合せ)です。

他、真庭市では年間を通して多くのイベントが開催されています。お問合せの上、合せてご利用ください。

【詳細問合せ先】

真庭市観光協会

TEL 0867-44-4111

(若林 さち代 記)



市場の風景 特産の蒜山だいこん



ひるぜんワイン

工場を見学することもできる。絞られた牛乳は甘くまろやか、ゴードチーズはフォンデュにできるチーズで臭みもなく日本人向き。おつまみにも最適。

ひるぜんワイン  
日本で唯一、野生の山葡萄を原料にして作られたワイン。少し渋みがあるような濃厚さが美味で日本のワインコンクールで銅賞をとったほどの実力派。

道の駅風の家

蒜山高原の特産品蒜山大根や数に限定がある白樺メロンなど新鮮な野菜や果物が揃う。ラベンダーやブルーベリーのソフトクリームトマトや大根、いちごのシャトーも人気。他ひるぜんワインやジャージー牛の乳製品、蒜山そばなども。

DATA

ひるぜんジャージーランド

真庭市蒜山中福田 956-222

TEL 0867-66-7011

・アクセス 米子道蒜山ICから

R482 蒜山高原道路経由 10分

・営業時間 9:00~17:00

<要問合せ>

(1~2月は 10:00~16:00

夏休みの一部 ~20:00)

道の駅風の家

真庭市蒜山上徳山 1380-6

TEL 0867-66-4393

・アクセス バス停中原からすぐ

・営業時間 <要問合せ>

夏季 7:30~17:30

冬季 10:00~15:00

ペットのための蒜山高原と湯原温泉

蒜山にドッグスポー  
ツフィールド誕生

平成18年9月蒜山高原にドッグスポーツフィールド「ミルトス」が誕生した。フリスビー広場、アジリティ(障害物)広場、プレイ広場があり、さわやかな高原の中で愛犬と思いつきり遊べる。

(1000円/1時間)

また、「かずのこ村」にはペット(犬)と泊れる貸別荘が三棟ある。今はペットも家族一員の時代。一緒に旅行できるのがうれしい。

いずれも詳細については要問合せ。

人 おかやま観光最前線

岡山県旅館組合副会長、湯原町旅館協同組合理事長  
古林伸美さんに聞く 岡山DCCへの取り組み